

Webアプリケーション

- ・モデル化された工事データはRDBMSに登録しています。
- ・そのデータはWebブラウザを介して閲覧できます。

確認可能な情報は、

- ・重量，面積，溶接長，ボルト本数等のテキスト情報
- ・一般図，加工図等の2D図面（SVG）
- ・フロア別・エレクション別の3Dモデル（X3D）
- ・3Dモデルに寸法線等のアクセサリを付加した「3D詳細図」

モデル化された工事データはRDBMSに登録されていて、そのデータを同時に複数の人がWebブラウザを介して閲覧することができる。Webブラウザから確認可能な情報は、重量、溶接長、面積、ボルト本数等の文字情報に限らず、一般図や加工図等の2次元図面（SVG）や3次元モデル（X3D）も含まれる。3Dのモデルに寸法線等のアクセサリを付け加えた「3D詳細図」をAutoCAD-WSのクラウド上にアップロードし、iPadやAndroid端末から閲覧することも可能です。また、3Dモデルを実際の施工場所にも表示が可能（Google Earth）で部材の干渉チェックや建方検討の利用も可能です。
*GoogleおよびGoogle Earthは、Google incの商標または登録商標である。